

(7)

受入施設名	東京都リハビリテーション病院				
1 施設の概要					
所在地	墨田区堤通2-14-1 (区東部医療圏)				
診療科目	リハビリテーション科、整形外科、泌尿器科、歯科、眼科、耳鼻いんこう科				
リハビリ関連施設基準	回2、脳I、運I				
病床数	165床 (うちリハビリ専門病床 131床)				
訪問・通所リハビリ	<input checked="" type="checkbox"/> 訪問リハビリ (<input type="checkbox"/> 医療保険 <input checked="" type="checkbox"/> 介護保険) <input type="checkbox"/> 通所リハビリ (介護保険)				
併設施設	なし				
1日あたり リハビリ実施人数	入院 150人 ・ 外来 40人				
2 スタッフの充足状況 (平成29年4月1日時点) ※リハビリテーション部門のみ					
医師	常勤	16名	(うちリハ専門医)	常勤	8名
	非常勤	20名		非常勤	0名
理学療法士	常勤	40名	作業療法士	常勤	31名
	非常勤	4名		非常勤	5名
言語聴覚士	常勤	13名	看護師	常勤	94名
	非常勤	3名		非常勤	7名
3 利用の多い症例 (疾病)					
脳血管疾患・頭部外傷・関節疾患・腰痛・パーキンソン病・脊髄小脳変性症・骨折・脊椎疾患・ 関節リウマチ・高次脳機能障害					
4 実務研修概略					
研修テーマ	別紙「平成29年度 若手の理学療法士及び作業療法士実務研修の受入」のとおり				
受入日程 及び 受入人数	平成30年1月29日(月曜日)から 平成30年2月9日(金曜日)までの間で全10日間 理学療法科(3名)、作業療法科(3名)、地域リハビリテーション科(PT又はOT4名) 申込書に希望する科を記入すること ※詳細は別紙のとおり				
研修目的	別紙「平成29年度 若手の理学療法士及び作業療法士実務研修の受入」のとおり				
研修内容					
5 研修内容に関するお問い合わせ先					
住所	〒131-0034 墨田区堤通2-14-1				
担当部署	東京都リハビリテーション病院 事務室 経営企画係				
電話番号	03-3616-8600 (代) 内線214				
6 備考 (申込時の注意など)					
理学療法士賠償責任保険、作業療法士賠償責任保険等の保障制度に加入していること。					

	理学療法科	作業療法科	地域リハビリテーション科
研修テーマ	回復期 脳血管疾患患者のリハビリテーション	当院における作業療法評価とアプローチ	・生活期のリハビリテーションを理解する。 ・介護予防事業を理解する。
研修目的	講義・見学・実技・臨床・事例報告会などを通じて、回復期の脳血管疾患患者におけるリハビリテーションを習得する。	講義・見学・症例検討を通し、作業療法の専門的知識と技術習得を図る。	・生活期のリハビリテーションを理解する。 ・ICFを理解し、目標や訓練に結びつけられる。 ・介護予防事業を理解する。 ・地域リハビリテーション活動支援事業の実際を理解し、各区での活動につなげる。
研修内容	①回復期病棟におけるリハビリテーションの基本的な流れ、役割を理解する	対象者の個人及び環境背景を踏まえ、心身機能、活動と参加の評価と訓練を臨床形式で学ぶ。 また、各種専門分野担当者による講義、及び実技を学ぶ（上肢機能訓練、高次脳機能障害、高次脳グループ訓練、生活行為向上マネジメント、在宅支援、障害者の自動車運転評価と指導、車椅子シーティング他）	①訪問リハビリテーションの見学
	②脳卒中片麻痺患者のリハビリテーションの基礎知識を習得する		②維持期リハビリテーションの実際研修
	③基本的な評価方法及び治療技術を習得する		③退院支援の実際
	④装具療法、ニューロリハ、チームアプローチなど脳卒中回復期リハに関わる専門知識に触れる		④事例報告
	⑤CCS概念に基づいた事例検討及びグループワークを通じて臨床推論力を身に付ける		
受入体制	〔各科共通〕 ○研修期間：平成 30年 1 月 29 日（月曜日）～平成 30 年 2 月 9 日（金曜日） （土・日を除く10日間） ○研修時間 8：30～17：00		
	○受入人数3人（理学療法士） ○講師：医師、看護師、主任級理学療法士、認定理学療法士	○受入人数3人（作業療法士） ○講師：臨床は、主任級作業療法士3名。講義は、医師、看護師、作業療法士が担当。	○受入人数4人（理学療法士、作業療法士） ○講師：医師、看護師（2名）、MSW、理学療法士、作業療法士
その他	研修を通して、受講者が所属する施設紹介と取り組みも紹介していただきます。 受講者の選考につきましては、学びたい内容が研修内容と一致し、具体的な研修目的がある方を優先します。		